

たんぽぽの種

植高公朋

御遺族のことばの余白知り難く臆にうつる彼のベンチは

私にはうまくいかない日々があり逃れに逃れ来た。ポエムカフェ

推し詰めて膨らみきった丹前のような短歌を詠む若きわれは

原田ひ香の本を七冊読んできたこの一冊に出会ってからだ

我がまだ北の小芥子の前世にてありし昔の毛利邸パンフレット

誠実な男にもらう『名文を書かない文章教室』の本

貴方にも地を這う過去が多分ある見上げるだけの俺たちになろう

寂しさを分け合う友よ兄弟がいるから飛べるたんぽぽの種